

中国でマツダ/フォード/長安汽車が提携強化 ーマツダが長安フォードへ出資、新会社名を長安フォードマツダにー

マツダ株式会社はこのほど、フォードと長安汽車(本社:中国重慶市)の合弁会社である長安フォード汽車有限公司(長安フォード、本社:中国重慶市)へのマツダの出資について、中国政府の承認を取得するとともに出資を完了したと発表した。これにともない長安フォードは会社名を「長安フォードマツダ汽車有限公司」(CFMA)に変更した。3社は2月27日に長安フォード重慶工場でのMazda3の生産開始を発表しており、今回のマツダの出資によって中国における3社間のパートナーシップはさらに前進する。

CFMAへの3社の出資比率は、マツダ15%、フォード35%、長安汽車50%で、マツダはフォードが所有していた50%の株式から譲渡を受けた。

マツダの尾崎清取締役専務執行役員は、「マツダの長安フォードへの出資が実現したことを大変嬉しく思う。これにより、マツダ、長安汽車、フォードとの3社の協力関係の基盤がこれまで以上に強固なものとなり、南京、重慶での諸施策の推進が加速される。また将来に向けた更なる協力の可能性が広がることになる。マツダの中国での中期目標である2010年30万台の生産・販売目標の達成に向けた基盤づくりがさらに大きく前進した。中国政府、パートナー各位に深く感謝申し上げたい」と語った。

フォード(中国)有限公司の程美玮(Mei-wei Cheng)会長兼CEOは、「長安フォードの資本構成の再編によって、長安汽車、フォード、マツダの中国での提携関係はさらに緊密なものとなり重要な段階に進む」と述べた。さらに、「CFMAはより多くの魅力的な新商品を中国のお客様にお届けするため、3社の有益なリソースを結集していく。CFMAは中国自動車業界においてトップクラスのメーカーとなるべく急速に成長していくと確信している」と語った。

長安汽車グループ及び長安フォードの尹家緒(Yin Jiayu)会長は、「マツダの出資による長安フォードの資本構成の再編は長安汽車、フォード、マツダ3社の協力の大きな成果である。これは3社の協力関係がブランド、技術、マーケティング、資源共有化などの領域でさらに進展したことを示している」と述べた。さらに、「長安汽車はマツダ、フォードと更なる協力関係を深め、お客様のニーズにあった高品質な商品を提供するとともに、各社の利益が最大となるような新しいビジネスモデルを築いていきたい」と述べた。

マツダ、フォード、長安汽車の3社は、過去2年間で中国での長期的戦略的なパートナーシップを急速に発展させてきた。南京ではCFMAの2つ目の自動車製造工場の建設が進められている。この工場は初期生産能力が16万台で、2007年に稼働予定である。CFMAの重慶工場は、現在15万台の年間生産能力を今年5月に20万台に引き上げる予定であり、拡張された生産能力の一部はMazda3の生産にあてられる。また、南京工場に隣接して長安フォードマツダエンジン会社の工場建設が進行中であり、2007年に稼働の予定である。このエンジン会社では世界トップレベルのエンジンの生産が可能で、中国での各社の工場にエンジンを供給する計画である。

以上